

危険予防の方法

- ア 発破の設計及び方針
- イ 飛石防護施設（防護柵等の図面添付）
- ウ 見張人の位置及び人員（図面上に記載のこと）
- エ 発破孔口に対する措置
- オ 付近民家に対する予防又は警報の方法
- カ 発破時刻の制限
- キ 1回の発破の全装薬量
- ク その他（振動、騒音対策等）

- 注 1 できるだけ具体的詳細に記載すること。
2 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。